

この度はお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。

ランプ交換後にランプ又は既設の照明器具の故障や不安全事象が発生した場合は、弊社にご連絡ください。

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられております。

工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡し下さい。

安全に関する注意

⚠ 警告 取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が想定されます。

- 本製品の施工、および取り外しや交換は電気工事店、または有資格者が行ってください。不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は施工方法に従い確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧・周波数以外の電源で使用しないで下さい。感電・火災の原因となります。
- 本製品の取り外しや交換は必ず入力電源を切ってください。感電・火災の原因となります。
- 本製品を分解・改造したり、部品を変更して使用することはおやめください。落下、感電、火災の原因となります。
- 本製品が破損した状態で使用しないで下さい。落下、感電、火災の原因となります。
- 電源線接続は確実に行って下さい。発熱・火災の原因となります。

⚠ 注意 取扱いを誤ると、人が負傷するか財産に損害が生じる危険が想定されます。

- 本製品はランプに直接商用電圧を接続するタイプです。蛍光灯の安定器やLED用の電源をご使用にならないでください。
- 電線の接続については、P.2の施工方法に従い確実に行ってください。
- 本製品は種々の照明器具に装着しても光の方向を適正化する口金角度可変機構を備えています。取扱い説明に従い正しく口金の角度を設定してください。誤った角度設定では落下、破損の恐れがあります。
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、粉塵の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、-20～45℃以外では使用しないでください。これ以外の温度で使用すると短寿命の原因となります。

保証規定

- 保証は日本国内のみとし、期間は購入日から3年です。
- 保証期間中に取扱説明書に従った正常な状態で使用されて本製品が故障した場合、無償交換または無償修理をさせていただきます。
- 弊社が行う保証は本製品に限定させていただきます。交換により発生する休業補償や利益損失補填などは保証の対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は半分の保証期間とします。
- 保証期間内においても次のようないくつかの場合は保証対象外です。
 - ▲ 使用上の誤りや不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ▲ 不適当と考えられる使用環境（塩害・振動・湿気・粉塵・腐食性ガス・オイルミスト）などで使用された場合
 - ▲ 火災・地震・水害・落雷・台風などの天変地変、および公害・塩害・異常電圧などによる破損や損傷

お手入れ時の注意

明るく安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。

- 清掃する際は必ず電源を切り照明器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 照明器具のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃しないでください。
内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
- 清掃には、柔らかく乾いた布や水をよく絞った布で行ってください。
故障の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

株式会社オプティプラス

〒110-0016

東京都台東区台東4丁目18番7号
シモジンビルディング8階

お問い合わせ先

TEL:03-5812-3566

受付時間：10:00～18:00

(土・日・祝日・年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く)

施工方法

■ 本製品設置条件

本製品は図.1に示すようにランプの片側端子（ピン）だけに直接商用電圧を接続するタイプであり、他端のソケットには給電しない片側給電タイプになります。必ず片側給電タイプ専用器具に取付けてください。一般の蛍光灯照明器具等には取付けないでください。本製品と組合せて使用できる照明器具を表.1に示します。

図.1 片側給電タイプの結線図



表.1

| ランプ | 専用器具 |
|-----|--------------|
| 20形 | OJ-A600シリーズ |
| 40形 | OJ-A1200シリーズ |

■ 蛍光灯具を配線変更工事する場合

工事を行う前に蛍光灯具内の電気部品（ソケット、端子台、配線など）の劣化状態を以下に示すウェーブサイトにアクセスして安全確認を行った後に配線変更工事を行ってください。

https://www.jlma.or.jp/anzen/pdf/anzenCS_SISETUkeikou.pdf

①電源がOFFになっていることを確認した上で、蛍光灯用安定器の1次側線と2次側線を切断します。（図.2）

蛍光灯用安定器は取り外します。

②電源端子台とランプのG13ソケットの片側に接続します。（図.3）多灯用の器具を改造する場合はランプを並列に結線してください。
接続が不確実の場合、接触不良による発熱・火災・感電の恐れがあります。

③配線接続したG13ソケットの付近に”給電側”シールを貼り付けてください。（図.4）

④必要に応じてランプの口金角度を変更し（図.5）、ランプの”電源側”表示と器具の”給電側”を合わせて装着します。

図.2 改造前の蛍光灯照明器具の1例

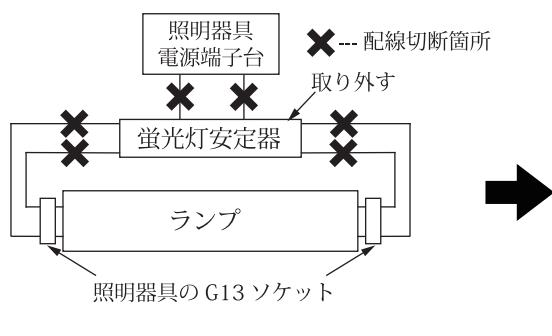


図.3 改造後 LED 化照明器具

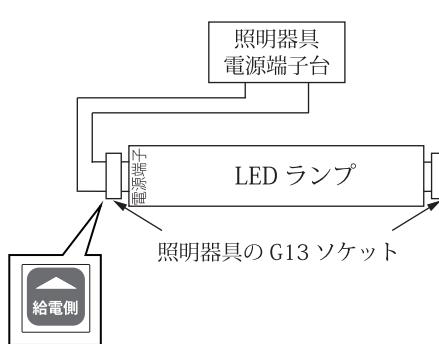
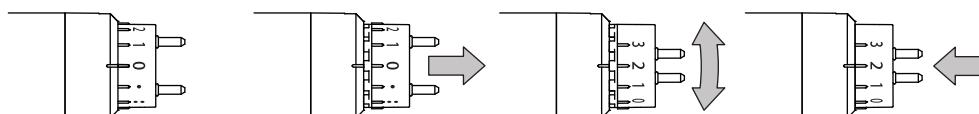


図.4 “給電側”シール



■ 口金角度の変更方法

図.5 PRシリーズ口金角度調整方法



口金部中心を引き出して、目的の位置に回転させた後、口金部中心を戻して口金部を固定してください。

注意：両端の口金共に同じ目盛（記号）になっているか確認ください。異なっているとランプ落下の恐れがあります。

■ 工事完了後の器具への表示

配線変更工事後の照明器具には図.6のLED器具表示シールを貼り付けてください。

図.6

| LED化工事記録 | |
|---|----------|
| この照明器具はオプティプラス製 LED ランプ（電源内蔵形）専用、または、専用に改造してあります。 | |
| 【警告】他の LED ランプや蛍光ランプには使用できません。 落下・発火・感電の危険があります。 | |
| 定格電圧：100V～200V | 工事日： 年 月 |
| 適応光源（形名）： | |
| 工事業者名： | |
| 株式会社オプティプラス | |